

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：園芸特産物対策費

事業名 ぎふ花き活用拡大推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 花き係 電話番号：058-272-1111 (内 2866)

E-mail：c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,093 千円 (前年度予算額：10,900 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	10,900	3,300	0	0	0	0	0	0	7,600
要求額	10,093	1,000	0	0	0	0	0	0	9,093
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・「国際園芸アカデミー有識者会議報告書」において、業界の壁を越え産学官金が連携して花き産業界を活性化することが必要とされたため、令和3年4月「ぎふ花と緑の振興コンソーシアム (以下コンソーシアムという)」を設置。
- ・県とコンソーシアムが連携して、振興企画コンペの開催や情報発信の連携事業に着手する他、花飾りを推進し新型コロナで落ち込んだ需要の拡大を図る。

(2) 事業内容

① 「ぎふ花と緑の振興コンソーシアム」との花き振興連携活動

- ・花き振興企画コンペの開催
県産花きの活用振興のため、将来を担う若い世代を対象に、斬新なアイデアを募集
- ・SNS等を活用した県産花き情報の発信

② 県産花き花飾りの推進

- ・ 新型コロナにより減少した需要の拡大に向け、花のある暮らしを身近に提案するため県産花きを活用した花飾りを実施
- ・ メディア等を活用し、県内外の消費者に県産花きを積極的に PR

(3) 県負担・補助率の考え方

県の花き業界全体の活性化を図るためには、県の負担が妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	120	審査員報酬
旅費	59	費用弁償、業務旅費
需用費	2,520	事務消耗品、花材費
役務費	29	通信運搬費等
使用料	140	会議室使用料等
委託料	7,225	企画コンペ開催、SNS等の情報発信
合計	10,093	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ ぎふ農業・農村基本計画 (令和3年度～7年度)
- ・ 清流の国ぎふ花き振興計画 (令和3年度～7年度)

(2) 後年度の財政負担

県が継続して財政負担する。

(3) 事業主体及びその妥当性

県の花き業界全体の活性化を図るためには、県が事業主体となることが妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・ぎふ花と緑の振興コンソーシアムを活用した積極的な連携事業を行うことにより、花きの需要拡大や花き生産の担い手育成を図り、県花き産業の活性化に寄与する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
連携事業数	0事例	0事例	4事例	8事例	20事例	

指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>○国際園芸アカデミー有識者会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4回：7月22日 ・第5回：12月23日 <p>○国際園芸アカデミー有識者会議 花と緑の振興センターWG</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回：9月3日 ・第2回：10月15日 <p>産学官が連携して花き産業界を活性化するため、コンソーシアムを設置し、県とコンソーシアムが連携して、振興企画コンペの開催に着手する必要がある。</p> <p>○公共施設等における花き活用拡大支援</p> <p>実施期間：令和2年6月～12月</p> <p>開催場所：県庁など県関係施設及び市町村庁舎等の県内延べ56カ所</p> <p>実施回数：切花 50カ所×24回、1カ所×23回</p> <p style="padding-left: 20px;">鉢花 50カ所×6回</p> <p style="padding-left: 20px;">総合計1,523回</p>
-------	--

令和3年度	
	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県とコンソーシアムが連携して、振興企画コンペの開催や情報発信の連携事業を実施することで県産花きの魅力発信を図る。 ・アフターコロナを見据え、花き生産者支援のために花飾りによる販売需要に向けた取組が必要。
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、花きの消費構造の変化が予想される。</p>
--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	